

教材整備緊急3ヶ年計画〈解説〉

平成21年～23年

新学習指導要領の円滑な実施のための 教材整備緊急3ヶ年計画スタート!!

解説

文部科学省は教材整備について、平成14年から5年間「教材機能別分類表」に基づく整備を行い、平成19年から20年度の2年間はそれぞれ単年度の措置を行なって来ました。平成21年度から23年度の3年間は新学習指導要領の円滑な実施のためとして『教材整備緊急3ヶ年計画』を打ち出しました。趣旨、積算内容、年次計画額は次のとおりです。

1 趣旨

新学習指導要領に基づいた指導が確実かつ適切になされるよう、移行期間である平成21年から23年度までの3ヶ年間に限定して、新たに必要となる教材の整備を促進するための措置。

2 積算内容

- 1) 既に学校が保有している教材について、更新に必要な経費を積算。
- 2) 新学習指導要領に対応するため、外国語活動(小学校)、武道必修化(中学校)及び和楽器整備(中学校区)に必要な新規分の経費を積算。
- 3) 新規分は新学習指導要領の移行期間である小学校2年間(平成21年度から22年度)、中学校3年間(平成21年度から23年度)を計画期間とする。
- 4) 新規分についても整備翌年度から更新分対象教材に組み入れる。

3 年次計画額

3ヶ年計画総額	2,459億円
内訳 更新分	2,188億円
新規分	271億円
平成21年度	816億円
(うち新規分)	96億円)

平成22年度	825億円
(うち新規分)	96億円)
平成23年度	818億円
(うち新規分)	79億円)

この緊急3ヶ年計画における積算額の特長は、既存教材の更新分に加えて新指導要領に対応すべく新規分が加算されていることです。それだけに学校は教材整備にあたって、

- ①新学習指導要領全面実施を見越して、教材の整備を策定する-あらたに整備が必要と考えられる教材のリストアップ
- ②新規必要教材、数量不足教材、故障老朽化した教材、新技術のデジタル教材などリストアップ

することによって計画性のある、的確な整備が進むことになります。今までの教材費予算措置率(※)は低下の一途でした。平成8年度公立小・中学校の教材費措置率は101.4%から年々下がり続け平成19年度では65.3%となっています。然し、過去2回の学習指導要領の改訂に伴う移行措置期間中だけは予算措置率は上向きとなっています。

※教材予算措置率とは基準財政需要額に対する決算額の割合のことをいう。

各学校においてはこのチャンスを逃すことなく教材整備を行い、教材を使用することによって新学習指導要領の狙いである「習得」「活用」の学習活動を充実することが必要です。

新学習指導要領の円滑な実施のための教材整備緊急3ヵ年計画スタート

平成21年度は教材整備のチャンスです!!

- ◎ 新学習指導要領の導入に伴い、必要となる教材をリストアップする。
- ◎ 新学習指導要領の全面実施を見越して、教材の整備を策定する。

教材整備のポイント

- 新規必要教材
- 数量不足教材
- 故障・老朽化した教材
- 新しいデジタル機器

新学習指導要領の実施により各学校において新たに整備することが考えられる教材(例)

【小学校】

教科等	学習指導要領の改訂内容(主なもの)	教材例
学校全体で共用可能なもの	(技術革新に伴うもの)	電子黒板、電子情報ボード、地上デジタル放送対応テレビ、DVD・ブルーレイプレイヤー、DVD・ブルーレイレコーダ、ICレコーダ、拡大投影機など
国語	古典に関する指導(ことわざ、故事成語、伝説、古文・漢文の音読など)を充実	古典を題材とした教授用掛図・紙芝居・DVD・ブルーレイ・CDソフト、百人一首、かるたなど
社会	世界文化遺産、国宝、重要文化財などの文化遺産に関する学習の充実	文化遺産を題材とした教授用掛図・DVD・ブルーレイソフト・PCソフトなど
	47都道府県の位置と名称、縄文時代の指導の移行(中学校→小学校)	都道府県や縄文時代を題材とした教授用掛図・PCソフトなど
生活	動植物の継続的な飼育栽培の明確化、安全教育に関する内容、遊びに使う物を工夫して作るなど遊びに関する内容を充実	飼育栽培活動のためのサークルやかご、安全教育などのための地域マップ、植物観察用のデジタルカメラ、書画カメラ(実物投影)、遊びを充実させるための工作道具(段ボールカッター、グルーガン、キリ、金づち、のこぎりなど)
音楽	鑑賞教材について、和楽器を含めた我が国の音楽の指導を充実	伝統音楽の鑑賞指導用のCD・DVD・ブルーレイソフトや和楽器(箏、三味線、尺八、篠笛、締太鼓、箏篋(ひちりき)など)など
図画工作	感性を働かせながら材料や用具を活用して作るなど、造形的な創造活動を充実	金づち、のこぎり、糸のこぎり、電動糸のこぎり、小刀、くぎ抜き、ペンチ、ラジオペンチ、土練機、粘土槽、彫刻刀など
家庭	五大栄養素に関する指導の移行(中学校→小学校)	五大栄養素に関する掛図や黒板など
体育	「体づくり運動」を充実(低・中学年にも規定) 発達の段階に応じた指導内容の体系化・明確化	Gボール、平均台、竹馬など体づくり運動に関する教材 ミニハードル、ソフトボール用具一式、ソフトバレーボール用具一式など
道徳	情報モラルや基本的な生活習慣、社会生活上の決まりに関する指導などを重視	情報モラル、生活習慣、きまりに関する掛図・DVD・ブルーレイソフトなど
外国語活動	高学年から新規に導入	外国語版の世界地図や地球儀、外国の歌・チャンツ、文化等を題材としたピクチャーカード、CD・DVD・ブルーレイソフト、模型(世界の貨幣、世界の食べ物など)など
特別活動	自然の中での集団宿泊活動を一層推進	自然体験活動関連用具一式(テント、飯ごう、拡声器など)など
算数	図形や数量関係に関する指導の充実 算数的活動を指導内容として規定	ひし形・台形の面積の求め方の教材 計算カード、色いた、ジオボードなど

【中学校】

教科等	学習指導要領の改訂内容(主なもの)	教材例
学校全体で共用可能なもの	(技術革新に伴うもの)	電子黒板、電子情報ボード、地上デジタル放送対応テレビ、DVD・ブルーレイプレイヤー、DVD・ブルーレイレコーダ、ICレコーダ、拡大投影機など
国語	〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を新設し、古典に関する指導を重視	古典を題材とした教授用掛図・紙芝居・DVD・ブルーレイ・CDソフト、百人一首、かるたなど
社会	世界の諸地域(7地域に分類)の特色に関する指導を充実(原稿は2~3カ国の調査学習)	世界の諸地域における自然、産業、生活・文化、歴史的背景などを題材とした教授用掛図・DVD・ブルーレイ・PCソフトなど
	生活と宗教とのかかわりや世界の宗教分布、宗教の多様性など宗教に関する指導を充実	世界の宗教の分布や宗教の多様性などを題材とした教授用掛図・DVD・ブルーレイ・PCソフトなど
音楽	邦楽指導の重視(我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導の充実など)	伝統音楽の鑑賞指導用のCD・DVD・ブルーレイソフトや和楽器(箏、三味線、尺八、篠笛、締太鼓、箏篋(ひちりき)など)など
美術	我が国の美術文化に関する鑑賞指導を充実	我が国の美術文化を題材とした教授用掛図・DVD・ブルーレイ・PCソフト・模型など
保健体育	武道の必修化	武道(柔道、剣道、相撲など)を題材としたDVD・ブルーレイ・PCソフト、実習に必要な武道具(柔道着、柔道畳、剣道防具、簡易まわしなど)など
技術・家庭	消費者の権利と責任、和服の着方などに関する指導を充実(家庭分野)	消費者の権利と責任や我が国の衣食住文化などを題材としたDVD・ブルーレイ・PCソフト、実習用の浴衣など
	デジタル作品の制作(アニメーションの作成など)や生物育成に関する学習内容を必修化(技術分野)	デジタル作品の制作や生物育成を題材としたPC・DVD・ブルーレイソフト、生物育成に必要な栽培・飼育用具一式など
外国語	指導語数の増加、教材の題材の充実、言語活動の充実	音声指導のためのCDソフト、文化等を題材としたDVD・ブルーレイソフト、ピクチャーカード、フラッシュカードなど
道徳	情報モラル、法やきまりなどの規範意識に関する指導などを重視	情報モラル、先人のきまりやしきたりに関する掛図・DVD・ブルーレイソフトなど
特別活動	職場体験活動を一層推進	勤労観・職業観の育成に資するDVD・ブルーレイ・PCソフトなど
数学	「資料の活用」を新設し、統計に関する指導を充実 小学校との円滑な接続の観点からの内容充実	ヒストグラム、相対度数黒板、標本 図形の移動、球の表面積

教育委員会・学校の皆さんへ

新学習指導要領の 全面実施

に向けた準備は万全ですか？

約 **40** 年ぶりに
授業時数と指導内容が増えました！

教材・図書の準備は
万全ですか？

例えば こんな学習が重視されます。

小学校 | 平成 23 年度から全面实施

- 外国語活動の導入 (高学年)
- 理科教育の充実 (風とゴム、体のつくりと働き、電気の利用)
- 5 大栄養素の指導 (家庭)
- 古典の重視 (国語)



中学校 | 平成 24 年度から全面实施

- 武道の必修化 (保健体育)
- 理科教育の充実 (酸化と還元、遺伝の規則性と遺伝子)
- 伝統音楽・伝統文化に関する学習の充実



例えば 授業時数はこのように変わります。

小学校 |

- 国語・社会・算数・理科・体育の授業時数を 10% 程度増加
- 週当たりのコマ数を低学年で週 2 コマ、中・高学年で週 1 コマ増加

中学校 |

- 国語・社会・数学・理科・外国語・保健体育の授業時数を実質 10% 程度増加
- 週当たりのコマ数を各学年で週 1 コマ増加



発行 文部科学大臣認可
社団法人 日本教材備品協会
〒160-0012 東京都新宿区南元町 23 公立共済四谷ビル
TEL. 03 (5919) 2055 FAX. 03 (3341) 0266
URL <http://www.jema.or.jp>